

「西区新庁舎整備について」説明会議事録

1. 日時 平成 28 年 10 月 25 日（火）19：00～21：00

2. 場所 竹の台地域福祉センター

3. 出席者

竹の台地域委員会

筧委員長、水野副委員長兼事業部会長、森川副委員長兼広報部会長、西田総務部会長、佐藤福祉部会長、
 濱防犯・防災部会長、檀子ども部会長、巽会計、山本福祉部副会長、吉田監事

神戸市

西区総務部総務課 久保利課長・石田係長

同まちづくり課 保科課長

市民参画推進局参画推進部区政振興課 久安課長・日下係長

みなと総局技術部計画課 平岡課長・藤元係長

4. 説明会開催の経緯 ～西区まちづくり課 保科課長より説明

- ・9月29日、竹の台地域委員会から西区長宛て「西区新庁舎整備について」（質問・意見）提出。
- ・それと併せて、同じく竹の台地域委員会から広聴課に出前トーク（「西区の計画について」）依頼。
- ・西区まちづくり課より、地域委員会へ「出前トーク」で聞きたい具体的な内容を確認したところ、質問状の内容と似通っている、被っているところが多かった。
- ・質問への回答として、文書回答するか、あるいは説明の場を設けて回答するか、希望を聞き、口頭にて説明を聞きたいという事で、この場を設定していただいた。
- ・なお、質問の内容には、西区役所が担当していない部分もあり、庁舎の建て替えについては区政振興課、プレんティの関係についてはみなと総局に同席を依頼した。

※質疑記録に記載している記号について

「Q」は竹の台地域委員会からの質問、「A」は神戸市からの回答、「0」は竹の台地域委員会からの意見

1. 計画策定プロセスの透明化について

【質問】

- ・8月29日の区民まちづくり会議の資料では、それまでどんなプロセスを経て当該計画が策定されたのか説明がなされなかった。「プレんティ平面駐車場敷地を新庁舎建設地とすることが適当である」はいつ、どこで、誰が決めたのか教えていただきたい。

【意見】

- ・2016年西区計画では、「双方向のコミュニケーション」を重点目標としている。言うまでもなく西区民にとって影響が大きい「区役所移転」問題について、区民一人ひとりがこの事について考え意見を持てるよう、議論や決定のプロセスを透明化していただきたい。
- ・また、このプロセスについて区民に広く周知するためには、「広報誌」「ホームページ」だけでは不十分であると考え。現に当委員会でも、「区民まちづくり会議」という場があり、そこでこの問題が議論されていることを知ったのは今年度になってからである。区民に対してもう少し丁寧な説明、広報に務めていただきたい。

【区政振興課より回答】

(1) 庁舎の策定プロセスについて

平成26年 西区役所（区長）から「区民まちづくり会議」に協力依頼

平成27年 区民まちづくり会議で「西区行政機関のあり方について」意見徴収・集約

「公共交通機関の利便性、人口定着の状況、西区全体の地形的・地理的などから、西神中央付近に整備する庁舎においては区役所として位置づけて欲しい、位置づけられたい」

「整備にあたっては、西神中央駅から徒歩圏であること、十分な来庁者用の専用の駐車場を確保すること」

平成28年1月27日 区民まちづくり会議で、下記3候補地を提示し、議論

① プレんティ平面駐車場敷地 ②バスロータリー敷地 ③プレんティ2番館のフットサルコート

平成28年8月29日 区民まちづくり会議で3候補地のうち、「プレんティ平面駐車場」が適当であると総合的に判断したことを報告

(2) 広報・意見募集について

区民まちづくり会議の委員の皆様方を通じて、資料を地域の方々に周知するとともに、区のホームページや広報紙（広報こうべ）できる限り公開を行い、意見の募集をしてきた。

(3) 今後の予定

平成29年1月頃 区民まちづくり会議で新庁舎整備に関する基本計画の案を諮る

平成29年2月頃 条例上のパブリックコメントを実施

今年度中に基本計画を策定する予定である。

【質疑】

●計画策定プロセス～意見聴取の方法・広聴のあり方について

Q：平成27年10月19日の区民まちづくり会議では「具体的な場所が出されていないので、利便性や役割について判断できない」という意見があったと報告されている。その後の意見募集の結果、出された意見が1件である。区民まちづくり会議に出席した委員以外の、一般の区民の意見が1件というのは、それで意見を幅広く聴収したと言えるのか。また、平成28年1月、候補地を3か所に決めた時点で、各ふれあいのまちづくり協議会に（この情報を）持って行くなどしたら、各地域の意見や感想も寄せられたのではないか。さらに、平成28年1月27日の会議資料を公開して、意見募集した事に関して、8月29日の会議では報告がない。この間約半年しかなく、意見聴取されていないままである。行政が勝手に決めているという印象を受ける。

A：（西区総務課）

西神中央を含む西神区域は、西神中央出張所と保健福祉サービス窓口がある。西神3団地で約10万人、周辺を合わせると10万人余が居住する中で、今の行政サービスで良いのかどうか、西神地域での行政サービス機関を整備する必要があるのではないかとことから「西神地域に整備する庁舎のあり方について」～神戸市として分区はないという行政運営の中で～西神地域にどういった庁舎を整備する必要があるのかについて、区民からの意見をいただく場として平成27年7月31日区民まちづくり会議で照会させていただいた。ただ、その場で説明して意見をいただくというのも難しく、その場で意見をいただけなかったこともある。そこで、区民まちづくり会議の委員は、地域や団体を代表されている方々であるので、それぞれの地域・団体にこの話を戻していただき、多様な意見を頂戴したいとお願いした。その結果、いただいた意見について、10月のまちづくり会議で報告、HPにも掲載している。その意見に対して、12月に広報して意見を広く聴収した。そこでいただいた意見を持って最終的に3か所の選定、その場所から1か所に選定するのは行政が行っているが、何もかも行政が決めたというつもりはなく、たくさんの意見を頂戴していく中で、西神に整備する庁舎については区役所と位置付ける必要があるのではないかと意見を頂戴したので、その考えのもと今のところ進んでいる。

Q：平成28年8月29日の区民まちづくり会議の資料では、古い地図を使っている。今ない施設の名称がある。本当に、このまちのことをわかっている人が作っているのか。このことについて誰が責任を持つのか。

Q：そこに住んでいる人の意見を、まず最初に聞いていただきたい。それから区民会議とかいろんな人の意見を聞いていただくのが良い。住んでいる人が一番まちを愛しているのに、そこを飛ばして、便利になる、エスカレーターつけるからいいのでは、というのは違うのではないかと。まずはここに住んでいる者の話も少しは聞いてほしい。せめて会議に出ていなくても、会議があるのを知っている状態になっておかないと。

A：（西区総務課）

結果として、ご存じない方がたくさんいらっしゃるという事は、こちらも反省しないといけないと思う。区民の方全員にお知らせしようとするので、広報紙が一番有効な媒体と考えるので、さらに有効な利用の方法、できるだけたくさんの方にご覧いただいて、意見を言ってもらえるようなやり方は考えないといけないと考えている。ただ、西神にできるのだから西神の住民の声を一番に聞いて、という話もいただいたが、区庁舎が玉津から西神に移ることで不便になっておられる方もたくさんいらっしゃる。これに関して、大きな反対意見を言われなかった方々も実際たくさんいらっしゃる。区役所の事については、区全体から意見を頂戴する事で進めていくべきと考えている。

0：ふれまの委員長をしているが、毎日ふれま委員長あてに書面が来る。にもかかわらず、この一番大事

なこと（区役所の移転。今回の事に関する事など）は来ない。それが一番腹に据えかねている。区民まちづくり会議の資料をいろいろな分野（団体）に出している、というのが、今、まちをつくっているのはふれまち協議会である。婦人会や老人会、青少協はまちを作ってはいない。ふれまち協議会で選ばれた役員10数人が毎日毎日詰所に来て、いろいろな相談に乗ったり、勉強会や懇談会もやっているのにもかかわらず、一番大事な情報が来ないのはなぜか。「そんな事も知らなかったのか」と住民に笑われた。

結局今の区長の顔も知らない、前の区長の顔も知らない、その前の区長の顔も知らない。竹の台で地域のイベントなどを行う時は必ず案内状を出しているが、来てくれない。今年になって、一番大事な区役所が来るということがまちづくり会議で決まったということを知らないのかと言われたときは唖然とした。某議員が持ってきた。しかも古い地図である。その議員に「東京銀行ってどこにあるのか」と言ってやった。

0：区民まちづくり会議そのものが、昔からやっているから変えようとしていない。まちづくり全体に関して行うために、ふれまちの所管を、保健福祉局から市民参画推進局の方に動かしたと言うが、形だけではないか。区役所の中ではいつまでたっても変わっていない。顔は変わったが、それに対応していない。中身も変わらないといけないのに。

0：出前トークはテーマが決まっているというが、区役所移転というのは、区民にとっては一番のトピック。それを出前トークとして地域に話にきてくれるようにならないのか。また、区役所移転に関する情報がHPに出ているというが、非常にわかりにくい場所。探さないと見れない。

0：トップページに「区役所移転」としてまとめて欲しい。

2. 西区庁舎整備にかかる専門委員会等の設置について

【意見】

- ・今まで「西区まちづくり会議」が区役所移転の議論の場になっているようだが、委員の名前や選出プロセス、議事録もオープンにされていない。
- ・区役所移転に関して、「区民まちづくり会議」がどういう位置づけになっているのかははっきりしていない。
- ・区役所庁舎整備にかかる専門委員会等を設置して、地域や団体を代表した委員を選任し、議論の場としていただきたい。なお、責任を持って発言いただけるよう委員名や発言については公開することとされたい。

(1) 区民まちづくり会議が区役所移転の議論の場になっていることについて（西区総務課）

区民まちづくり会議の委員は、農村、ニュータウン、工業団地等地域特性を考慮したうえに、多様なメンバー構成、年齢構成となるように、各地域の自治会、婦人会、民生委員児童委員協議会、子ども会、PTA、青少協、老人クラブなどの地域団体の代表の他、工業会や農協などから人選されている。多様な人選がされているので、区庁舎のあり方についてご意見をお伺いする、お聞きする団体としては適切な団体であると考えている。また、ここで意見を頂戴するだけではなく、区ホームページで、ここで提示されているような資料については、全て公開するとともに、必要に応じて～過去2回～広報紙での意見募集も行っている。今後とも、広報紙が（広報媒体としては）一番適切だと考えるが、丁寧な広報に務めてまいりたいと考えている。以上のことから、西区新庁舎の整備に関して、改めて専門委員会等を設置することについては現在考えていない。

(2) 西区まちづくり会議の委員の名前や議事録の公開について（西区まちづくり課）

委員の任期は2年で、今期6月から12期に入った。8月の総会の時に、委員から区民まちづくり会議の内容をオープンにした方が良くはないかと意見が出た。区民まちづくり会議は委員の方々に構成されている会議なので、次回の総会で、委員の方々に諮り、公開するかどうか決定する。区役所の立場としては、できるだけ公開していくように議論していただきたいと考えている。

【質疑】

●「区民まちづくり会議」の委員の選任・代表性について

Q:長年竹の台ふれあいのまちづくり協議会に携わっているが、区民まちづくり会議の存在や、そこで区役所移転について議論されている事を今年の1月まで全く知らなかった。知らないうちに、区民にとっても、竹の台の住民にとっても大事な「区役所移転」という事が決まって行くことに関して、不信感を抱いている。区民まちづくり会議は、どれほど権限・効力があるのか。

A: (西区総務課)

みなさんから意見を聞く場の一つとして、区民まちづくり会議がある。そこでの意見が全てではないので、全戸配布される広報紙で広く意見を求めている。

Q:行政が、地域の活動の中心として活動してください、とって作った「ふれあいのまちづくり協議会」のメンバーが区民まちづくり会議のメンバーに入っていないのはなぜか？

Q:ふれまちは各小学校区単位で地域の中心的な役割を果たしてください、と市民参画（推進局）が言っている。地域でふれまちが中心となって、地域全体がゆるやかに連携して、地域活動してくださいと言う言い方をしている。各地域のふれまちも、福祉と交流だけでなくいろんな活動を多岐に渡ってしているところが多い。そういう「ふれまち」の委員は、どこかは入れていかないといけないのではないか？

A: (西区まちづくり課)

委員の中にふれあいのまちづくり協議会の委員長をされている方はいる。ただし、地域で中心的な団体は、ふれまちの所もあれば、自治会のところもあるなどいろいろであり、必ずしもふれまちの委員長が全員区民まちづくり会議に出れば良いというものではない。できるだけ幅広い立場や地域の方、という事でお願いしている。

Q:その委員は、誰が決めたのか？やりたい人が手を挙げたのか？区役所がお願いしたのか？

A: (西区まちづくり課)

区が推薦して市長が委嘱。団体に推薦をお願いしたりしている。

Q:その団体にふれまちは入っていないという事か。

A: (西区まちづくり課)

ふれまちは地域ごとにバラバラである。区の代表というものはない。

Q:区民まちづくり会議の中に、各種団体が入っている、青少協も代表者が入っていると伺ったが、自分も青少協支部長であるが、区民まちづくり会議で議論された事が、団体においてきていない。代表が出ているから大丈夫と言っているが、代表の方に、必ず地域のみなさんに伝えてくださいと言っているのか？

●区役所移転にかかる「区民まちづくり会議」の役割・位置づけについて

Q:最終的に新庁舎の建設は行政が決めると言ったが、何を持って決めるのか。区民まちづくり会議の提案をうけて行政は審議するのか？区民まちづくり会議の位置づけ、権限の位置づけと行政の関連性はどうなっているのか？区民まちづくり会議で何を言おうと関係ない、行政が決めるという解釈でいいか？参考にするだけか？区民まちづくり会議の役割は？

A: (西区総務課)

区民まちづくり会議は意見をいただく一つの場としている。参考にする。決定はあくまで行政が行う。ただ、行政で全て物事が決まる訳ではない。来年2月ごろには条例に定められたパブリックコメントが実施される。また、議会の方で予算を通していただかないとできない。今までは任意で意見を頂戴する場を設けてきたが、

今度は正式な条例上のパブリックコメントを実施し、その意見を元に基本計画が策定になる。それに合わせて予算、予算の調整は行政が行うが、決定は議会で行われる。そういった手続を踏んで計画として決定していく。

Q：パブリックコメントで、反対意見が多数であれば、行政は考え直すという事か。

A：(竹の台地域委員会)

意見に対する回答が返ってきて、それで終わり。

Q：(竹の台地域委員会)

反対するには、住民のアンケートをとり、署名を集めて反対の提出をすればよい。

あるいは議員に言って反対意見を出してもらうか。竹の台の住民の中には、区役所が建つのは美賀多台のところと思っている人がたくさんいる。それを、説明もせずにプレンティ平面駐車場にするというのはけしからん、と思う人もいる。アンケートをとってやらないと、住民に対して説明のしようがない。

Q：(竹の台地域委員会)

ここに来ている人が設置場所に反対という事ではない。基本的に不信感を持っている。区役所の移転だけを考えるだけではなく、区役所・西神中央出張所・図書館、医療センターなど西神中央全体がいかにあるべきか考えるべきと、意見があった事を、次回1月の区民まちづくり会議で伝えて欲しい。60人の委員の方が、どういう反応をされるのか、それをHPに上げてください。

●「区民まちづくり会議」の議事内容や委員の公開について

Q：ニュータウンから出ている区民まちづくり委員の名前は公表できないのか？その人を通して情報をもらったり、意見を言ったりするという事を言っているのにかかわらず。

A：(西区まちづくり課)

今度の区民まちづくり会議で、委員のみなさんにお諮りする

Q：公開することを、委員にことわらなくてはならないのか。

A：(西区まちづくり課) はい。委員の皆さんで構成されている会だ。

Q：議事録の公開・非公開については要綱では決まっていないのか。

A：(西区まちづくり課) 決まっていない。

Q：(区民まちづくり会議の) 議論の中身ぐらいは知りたい。今まで何の表現もされていない。議事録は最低載せて欲しい。意見を言った個人名が知りたいわけではなく、どんな意見が出ているのか知りたい。議事録の公開が区民まちづくり会議自身の決定事項である事自体がおかしいのではないか。議論の内容が「区民まちづくり」であり、秘密会議でまちづくり議論しているような会議体で良いのか。

Q：区民まちづくり会議は意見聴取の一つの場であるというが、一般の人からの意見がほとんど出ていない中、ほぼここが意見聴取の場である。竹の台地域委員会のメンバーも、皆まちづくりを真剣にやっており、住民に必要な情報は提供していきたいと思っていたにもかかわらず、今まで情報を知らなかったのはなぜか、考えて欲しい。

●西区新庁舎整備にかかる専門委員会の設置について

Q：兵庫区などの例を見ると、特別の委員会を作られて、議員も入り、公明正大な形でちゃんと公開されている。委員や議事録の公開もない「区民まちづくり会議」を最大の意見聴取の場とするのではなく、これに特化した専門委員会を設置すべきではないか。

Q：区長あてに専門委員会を作れという意見書を出したらどうか。

3. プレンティ平面駐車敷地を新庁舎建設地とすることについて

【質問】

- ・そもそも、この3か所を選定した理由は何か。3か所以外の候補地はないのか。
- ・駅前の神戸市所有のビル（センタービル）や美賀多台の空き地などの検討はなされたのか。

【意見】

- ・「地下鉄西神中央駅から徒歩5～6分」とあるが、高低差もあり、高齢者や障がい者、乳幼児を抱えた親にとっては決して利便性が良いとは言えない。
- ・今後何十年も使うであろう「区民の財産として使い勝手のよい西区庁舎」にするには、立地は最重要課題であり、建設地については神戸市としてあらゆる区民の利便性を最優先に考えていただき、再度検討をお願いしたい。

(1) 3か所を選定した理由／3か所以外の候補地の有無

区民まちづくり会議の中で、駅から徒歩圏・十分な来庁者用専用駐車場の確保という意見集約をいただき、市においては、この集約された意見を元に、複数の敷地について検討をした。

(2) 美賀多台の空き地について

他の候補地と比較して面積が過大であることや、幹線道路を渡る必要があることから、今まで以上に往来が予測される障がい者、妊産婦、高齢者の来庁を考慮した場合、安全面での不安がある。また、西神中央地域全体のまちづくりを考えた際に、オールドタウン化対策に資するような土地利用の具体化を図る必要があり、庁舎の観点と、まちづくりの観点から、区民まちづくり会議で提示した資料の候補地の中には入っていない。

【質疑】

●3つの候補地の選定方法／3つの候補地以外の候補地について

Q：3つの候補地について、バスロータリーやフットサルコートは面積が少なく、そこを選ぶこと自体いかなものか。西神戸医療センターの駐車場は検討したのか。ゾーニングという事を考えれば、警察や郵便局などの官公庁が集約することで利便性が高い。

O：駅の上に建てたら良い。

Q：区民まちづくり会議で、この3つの候補地以外にどんな意見があったのか。他の候補はなかったのか。

A：（区政振興課）

区民まちづくり会議で、「他の場所についてご意見ください」という意見のはかり方、意見徴収の仕方はしていない。

Q：なぜしないのか。

A：（区政振興課）

3か所の候補地の選定は、市の内部で、市有地を中心にしながら、区役所を建てて然るべき場所がどこなのか、関係部局と調整をした。美賀多台の土地についても検討した上で、3か所を提示した。

Q：その提示が押し付けのようにはかたれない。この3つになったから選べ、という感じ。

A：（区政振興課）

決してそういう事ではない。区役所等を建設するとき、全部の市の土地からどこの土地にするかと図るの

は、行政の責任もあるので、ある程度絞り込み、現実性の高いところから提案するというプロセスを踏んでいる。今回もそのプロセス自体には問題なかったと考えている。ただ、他の区でもそうだが、幅広く意見を聴取する～区民まちづくり会議だけでなく、区のHPだけでなく、広報こうべ、あるいは新聞などを通じて広くPRもしながら進めていることは、声をあげて申し上げたい。決して区民まちづくり会議だけで、声を拾って聞いていく、閉鎖的な部分だけでやっている、という気持ちは毛頭ない。

●現在の予定地について

- Q：(区役所が) 西神中央の駅前に来るのはうれしいが、一番遠い場所に持ってくるのはなぜか。
- Q：現在の候補地は、障がい者のために良いのかというのを、考えていただきたい。便利で駅に近いという候補地の中で選びました、というのには、適した場所ではない。距離もある。駅前であるといいながら駅前でない。高低差もある。スロープもあるがエレベーター、アーケードの設置もしないといけない。
- Q：今の区役所からしたら、3か所どこでも、プレんティ平面駐車場は近いからどこでも助かる。

●美賀多台の空き地について

- Q：30年ほど前、ここへ入居時の説明会で、神戸市から「ここ(美賀多台の土地)」に区役所が来る。」という話を聞いた。みんなそう思い込んでいる。今度は(その美賀多台の土地を)どこに売するのか?という話も出ている。
- A：(区政振興課)
本当にそういう話があったのか、西区の分区の時から、できる限りの資料は見た。しかし、そのような資料は見つかっていない。ただ、検討は内部の中でされたのだと思う。それは美賀多台だけでなく、他の土地も、3つの土地も含められたと。今回、再度総合的に検討した結果、3つの候補地という提案になった。
- Q：美賀多台の土地は「大きすぎる」?道路を渡る?では、現在選定されたプレんティ平面駐車場はどうなのか。これでは、美賀多台を外した理由にはならない。
- Q：区役所の候補地に選定されたプレんティ平面駐車場、車を押しているような年寄りが歩くと、時間がかかる。では、美賀多台の土地に行くのに、その同じ高齢者が6m幅の道路を渡るのは、そんなに危険なのか。説得力がない。
- A：(区政振興課)
他の区役所と比較すると、特に遠いという訳ではないが、なるべく雨に濡れずに行けるような工夫ができないか考えている。例えば、(西神中央) 駅からアーケードの設置を検討したり、高低差についてはエレベーターでどういった工夫ができるのか考えている。なんとかか遠さを感じない工夫をしていこうと。

4. 西神中央駅周辺全体のまちづくりについて

【意見】

- ・ニュータウンとして開発された西神中央地区も街開きから30年以上が経過し、急速な高齢化や人口減少により住民が抱える課題も当時とは大きく変わってきている。
- ・区役所移転を機に、単に区役所を西神中央に移転することのみを議論するのではなく、プレんティを含む商業施設や、既存の公共施設のあり方、これからの人口構成の変化に伴い必要となってくるであろう施設とそれに伴う土地利用の在り方等について、住民参加により議論し、西区として計画や方向性を出していただきたい。

(1) 西神中央地区のまちづくり計画について(西区まちづくり課)

入居当時と課題が変わってきているのは西神ニュータウンに限ったものではなく、全市、全区的な問題でもある。西区は西神中央や大規模開発されたニュータウンと、昔からのプチ開発が積み重なったような新興地域、昔からの農村地区などが混ざっているところなど、非常に多様な地域がある。西区役所では、このように多様な地域を抱えた中で、西区全体で共通の目標として区の5カ年計画を策定した。この中では、「1. 安全・安心」「2. 健康・福祉」「3. 交流・共生」のそれぞれに、区民が中心になって行う活動、行政が中心になって取り組む活動、区民と行政が一緒に取り組む活動が具体的に書かれているが、それぞれのエリアごとの計画は区役所ではこれまで立てたことはない。現時点では、今後も、区役所がエリア別に計画をたてる予定はない。ただ、それぞれの地区で、自分達のまちの計画を立てられたところもあり、地区で計画を立てるので一緒に考えてほしいというお話であれば当然、協力する。

意見の中に、「土地利用の在り方」とあるが、区計画はソフトに関するもので、施設を建設したり、壊したり、という土地利用に関するようなことは含まれていない。

●西神中央全体のまちづくりについて

0: エリア別でのまちづくりについては検討しないと回答があったが、西神中央は神戸市の中で「西の副都心」と位置付けられていて、神戸市の中でも西区が人口が一番多い。区役所移転に関しては、西区としての問題であり、西区全体として考えても良いのではないかと。ただ建物だけの移転を考えるのではなく、移転をした後の建物の使い方も同時議論をしながら、選定場所を最終決めて行くべきである。区役所の建物だけここに決めました、それしか議論できません、という形ではなく、今の西神中央出張所や図書館、区民ホールなど、それらを併せた、西区の公的機関の整備についての議論が必要。その議論が、西区区民まちづくり会議の中では全くなされていない。もっと慎重に、決定までには、もっと幅広い議論が必要ではないか。皆がいろんな話をして、いろんな案を出して、その上でここが一番いい、というのがベストではないかと。

Q: 西神中央駅周辺には、みなと総局の土地もあれば、交通局の土地もあれば、市の土地もある。その連携が全然とれていない。3か所の連携をどういう風にとられているのか? 西神中央全体を見て、区役所が移転する場所として、みなと総局が持っている土地を提供しましょう、という意見というのはないのか。というのも、増えるのは薬局だけ。交通局の土地にも、プレんティにも、高齢者が増えているせいか、薬局ばかりある。

Q: 西区まちづくり課からは地区別計画は立てていないということだったが、それではどこがこのまち全体の将来像を考えているのか。

A : (みなと総局)

西神ニュータウンや西神南ニュータウンは、みなと総局が開発し、整備してきたまちである。西神ニュータウンもまち開きから34年が経過している。元々、都市計画法に基づき全体のまちのプランを策定し、まちづくりを進めてきたが、当初のまちづくりの目標は、一定程度、達成したと考えている。

区役所の西神中央駅周辺への移転について、庁内で候補地を選定にするにあたって、みなと総局は、プレンティ駐車場や美賀多台の土地を所有しており、関係部局の一つとして議論に参加しているが、結果的に美賀多台の土地は候補地から外れている。

一方、西神中央駅周辺の商業施設について、竹の台地域委員会でプレンティに関するアンケートを実施していただき、地域の方々のニーズに合っていないというご意見などもいただいた。商業施設は我々が直接運営しているわけではないが、関連団体に周知し、協力していきたい。プレンティは、この春から店舗の一部について、リニューアルをはじめている。区役所という新しい機能を有する施設が立地する場所が決まれば、それに伴って、地域の皆さんがプレンティに求める機能も変わってくるのではないかと考えており、地域の皆さんのご意見をどういう形で把握していくことが適当か、今後、検討していきたい。決して、行政だけで西神中央駅周辺のまちづくりを進めていこうと考えているわけではない。

Q : みなと総局としては、プレンティ平面駐車場は効率が良くないので、土地を手放したいのではないか。

Q : 西神戸医療センター駐車場はどこ土地か？

A : (みなと総局)

みなと総局の所管ではない。

O : 駅の改札隣にあった風月堂のあとが薬局になっている。5時ごろになったら段ボールの山。西神中央のイメージがある。これが西神戸の副都心か、と。

交通局の土地で、みなと総局は関係ないかもしれないが、一般市民は交通局とは思っていない。所管が分断されていると、まちのイメージを失っていく。

O : ハードとソフトでも分断されている。ソフトは区役所、ハードはみなと総局や土地を持っている部局。地域がまちづくりについて相談するときに、どこにすれば良いのか。

O : 今の回答では、美賀多台の土地がプレンティ平面駐車場に変わった理由について、住民に説明のしようがない。

O : 住民からそういう意見がたくさん出たら、説明の場を設定するかもしれない。

O : 美賀多台の土地にこだわらず、全体を考えては。職安があるから、というのでもなく、全体を見て考えて欲しい。

O : 西神中央駅前の再開発で、大きな意味でゾーニング分けをすとか、いろんな形で見直し、大きな視点の中で見る必要がある。

O : そういう意見があったと、頭に置いておいてもらって、行政には考えていただきたい。